

## 2012MHC 登山講習 初秋の鹿島槍ヶ岳・爺ヶ岳登山 報告

9月1日、AM5:00 参加者15名が松本を出発。大町温泉郷で2名、市営扇沢駐車場で2名が合流し、そこから道路を徒歩で10分程大町方面へ下った柏原新道入り口で、夜半から車内で待機していた、1名も加わり、総勢20名となり、準備を整えAM7:15 登山口を一列縦列で出発する。天候は曇り空。



アザミ



森林帯の中、整備された急登路を登る。

実をつけたゴゼンタチバナ

山腹を巻くように登る

森林帯の中、石だたみにより整備されたジグザグの急登路を登る。登る道端に、赤実をつけたゴゼンタチバナやアザミの大きな紅紫花を見つけては、感嘆の声を上げる。高度を上げると、オヤマリンドウなどの花々も秋の今を盛りのように咲いている。

尾根筋を離れて山腹を巻くように登り、ダケカンバの林を抜け、岩石帯を滑らぬように通り抜け、木段の急坂を登ると、山斜面一帯紅葉したチングルマが広がる種池山荘に、AM11:45 到着する。辺り一面は、霧が覆い遠くの視界が効かない。



オヤマリンドウ



紅葉したチングルマ



木段の急坂を登り種池山荘に到着する



岩礫道を爺ヶ岳へ向かう

ここで大休止して昼食を摂り、身支度をし直してPM12:30 出発。霧の中、ガラガラした岩礫道を小1時間登ると、三角錐の山頂が姿を現してくる。PM1:30 爺ヶ岳南峰 2670mに全員登頂。さらにコマクサの咲く砂礫帯を抜け 30分程で中峰 2670mに全員登頂する。

ここからハイマツ帯の尾根道を辿り、赤岩尾根との分岐を右に見て下り、シラビソの林の中を登るとPM3:00 冷池山荘到着、泊す。登山中、鹿島槍ヶ岳は、とうとう霧の中からその姿を現さなかった。



爺ヶ岳山頂へ続く道



爺ヶ岳南峰 2670mに全員登頂



ヤマハハコ



アキノキリンソウ

9月2日、AM6:40 冷池山荘を軽荷で出発。湿っぽい濃霧が漂う中、灌木帯を過ぎると15分程でテント場を通過する。緩やかな登りの稜線には、紅葉したチングルマが広がり、アキノキリンソウなどの秋の花々が咲いている。



しばらくゆるやかな登りの稜線



トウヤクリンドウ



布引山のジグザグ道を登る



紅葉したチングルマ



姿を現したライチョウ



トリカブト

ハイマツに覆われた布引山のジグザグ道を登ると、トウヤクリンドウが咲き残る岩稜線へ登り出る。ここから、霧の流れる岩稜線を辿り、急な登りのガラ場を転ばぬように登り詰めると、AM9:00 鹿島槍ヶ岳山頂 2890mに全員登頂する。「おめでとう！」視界の効かない濃霧の中、皆笑顔で握手を交し合う。



山頂直下、急坂のガラ場を登る



鹿島槍ヶ岳山頂 2890mに全員登頂する。

20分程で下山開始。同じ道に戻る途中、数羽のライチョウが、私達に挨拶でもするように姿を現した。とうとう雨が降り出してきてAM11:00 冷池山荘で身支度を整え、先を急ぎ、PM1:00 種池山荘で昼食を摂り、昨日と同じ往路を下り PM4:15 登山口へ到着する。遠方からの参加者とはここで別れ、最終的にPM5:45 松本で解散とした。

「天候が変わり易い、濃霧、冷雨の中の秋山山行、それでも登頂の喜びを味わった登山講習だった。」

MHC 登山講習責任者 MHC 理事長 鈴木雅則